

平成22年入込観光客総評

平成23年6月 箱根町企画観光部観光課

平成22年は、世界的な景気後退等のマイナス要因により前年に大きく落ち込んでいた観光客が回復し、20,000千人台を1年で回復することができ、当町の観光の復調が感じられる年となった。

入込観光客総数は、20,036千人（前年比102.0% 387千人の増）となり、前年に割り込んだ20,000千人台を回復することができた。その内訳は、宿泊客が4,646千人（前年比102.7% 121千人の増）、日帰り客が15,390千人（前年比101.8% 266千人の増）となっている。

1 宿泊客について

施設形態別に見ると、旅館・ホテルは3,626千人（前年比106.5% 223千人の増）、寮・保養所が903千人（前年比91.1% 88千人の減）、そして、その他の施設（民宿、国民宿舎、ユースホステル、ペンション及びキャンプ場）が117千人（前年比89.2% 14千人の減）となった。

旅館・ホテルは前年を上回ったものの、寮・保養所、その他の施設は前年を下回る結果となった。

一般客は4,471千人（前年比102.5% 108千人の増）、外国人は132千人（前年比105.8% 7千人の増）と増加し、修学旅行生についても43千人（前年比116.6% 6千人の増）と前年を上回った。

一般客は、景気後退や新型インフルエンザの流行により減少していたものが回復し、前年を上回る数字となったものであるが、前々年（平成20年）の水準までは達しなかった。外国人観光客は、景気回復、羽田空港の国際線発着枠の拡大、中国人の査証発給の緩和が呼び水となり、訪日観光客数が過去最高になったことが当町にも波及した結果、前年を上回ったものである。修学旅行生は、新型インフルエンザが終息したことや県西部地区の自治体が協力した誘致活動などにより前々年の数字を上回るほどに回復した。

2 日帰り客について

日帰り客は、3月の春休みや5月のゴールデンウィークなどの春先の人出が例年以上に好調だったこと、高速道路の無料化社会実験が西湘バイパス、箱根新道で実施されたことにより6月以降の利用台数が増えたこと、前年来、減少していたアジア方面を中心とした外国人団体客が復調し、ケーブルカー、ロープウェイ、遊覧船といった交通機関の利用が全般的に好調だったことが大きな要因となり、7月～9月の夏の時期には猛暑により観光客が伸び悩んだにもかかわらず、1年間のトータルとしては前年を上回る結果となった。

3 月別入込み状況について

1月は、年末年始の日の並びが良くないこともあり入込客数が伸びなかった。2月は、降雪の日が目立ち、観光客の足に影響が出たが、韓国など東アジア方面の観光客が戻り始めるといった明るい話題もあった。3月は、降雪の日もあったが、春休みに入った学生を中心に湯本駅周辺などは混雑し、前年を大きく上回る観光客が訪れた。4月は、例年3月に実施する仙石原すすき草原の山焼きが4月に行われ、多くの観光客でにぎわいを見せ、5月は、ゴールデンウィークが天候に恵まれたことから概して観光施設の入込みは好調であった。6月は、高速道路の無料化社会実験が西湘バイパス、箱根新道で実施されたことに伴い交通量が大幅に増加し、6月以降の観光客の増の要因となった。7、8月は、日本列島中で記録的な猛暑が続いたことから、例年は観光客が多い8月も伸び悩んだ。9月は、前年とは異なり連休の日の並びが良くなかったため観光客が伸びず、また、尖閣諸島問題が発生し日中関係が悪化したことから、当町を訪れる中国人観光客にも少なからず影響が出た。10月、11月は、比較的天候にも恵まれ、紅葉や仙石原のすすきを目当てにした観光客でにぎわいを見せたことから、観光客も前年を大幅に上回った。12月は、クリスマスイブに芦ノ湖畔の大手ホテルで花火打ち上げを実施したが、全般としては中旬以降で客足が少なかったため、観光客数としては前年に及ばなかった。

なお、平成22年に最大の入込みがあったのは、すすき、紅葉の季節の11月であり、次いで5月のゴールデンウィークの時期となったことは例年になく傾向であり、特筆しておきたい。

4 まとめ

平成22年は、前年のマイナス要因（景気後退、新型インフルエンザの影響）を払拭し、観光客数20,000千人台を回復することができ、全般的には今後の当町の観光に期待が持てる結果となった。

日本全体の訪日観光客が回復したことが影響し、当町の外国人観光客も前年を上回る結果となったが、更なる外国人観光客の獲得のため、アジア等のターゲット層に的確な誘客宣伝を打つことが望まれている。

本年の特色として、箱根新道、西湘バイパスの無料化社会実験により、国道1号線ではなく箱根新道を経由して、芦ノ湖方面に向かい、帰路も箱根新道を経由するといったマイカーでの周遊方法の変化が見られたが、観光客の集中の緩和や道路混雑の解消効果も期待できることから、今後も注目していきたい傾向となった。

旅行形態の多様化、ニューツーリズムの推進等観光を取り巻く情勢が変化する中で、4月には神奈川県西部（2市8町）と静岡県熱海市の11市町が県域を越えて連携し、豊富な観光資源を活かした周遊・体験観光の促進、温泉等の資源を活かした滞在型の観光地づくり等に取り組んできたが、今後ともこうした取り組みを推進し観光地の魅力の向上を図ることで、厳しい観光地間競争のなかで存在感を示すことができるものと考えている。

平成23年は、東日本大震災の影響により当町の観光客も大きく落ち込むことが予想されることから、今まで以上に官民が一致団結して‘‘箱根の元気’’を発信することで観光客の減少を最小限に食い止め、この未曾有の事態に対処していきたいと考えている。

平成22年 月別入込観光客数一覧

(単位:人)

施設区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	対前年比
旅館・ホテル	252,624	249,324	323,513	278,834	303,250	261,366	288,433	408,318	294,093	325,102	343,788	297,636	3,626,281	106.5%
(内数:一般客)	245,340	241,657	313,031	261,697	287,416	247,182	276,406	397,415	281,190	302,929	325,390	286,192	3,465,845	106.4%
(内数:外国人客)	6,858	7,449	10,441	16,151	9,848	8,499	10,429	9,700	9,207	11,536	10,517	9,172	119,807	106.1%
(内数:修学旅行者)	426	218	41	986	5,986	5,685	1,598	1,203	3,696	10,637	7,881	2,272	40,629	122.0%
民 宿	1,620	1,059	1,714	1,812	2,023	1,243	1,841	2,844	1,533	1,602	1,537	1,050	19,878	81.8%
(内数:外国人客)	392	336	710	1,040	833	642	960	925	797	840	634	402	8,511	90.5%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-----
国民宿舎	3,073	2,666	4,558	3,742	4,936	3,164	3,571	6,087	4,021	4,152	4,600	3,717	48,287	99.1%
(内数:外国人客)	99	110	287	506	187	166	308	106	172	199	186	257	2,583	163.9%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	112	121	534	0	0	534	664	56	0	2,021	65.8%
ユースホテル	80	95	74	9	55	131	97	73	170	112	150	179	1,225	81.6%
(内数:外国人客)	36	33	47	6	43	99	57	34	143	62	77	122	759	88.1%
ペンション	1,053	788	1,530	829	1,246	727	905	2,367	1,283	1,019	1,299	999	14,045	97.8%
(内数:外国人客)	18	51	135	187	74	52	59	17	61	48	76	53	831	165.2%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-----
キャンプ場・コテージ	934	634	1,801	1,703	3,337	1,568	4,425	10,235	3,220	2,258	1,536	1,416	33,067	79.3%
(内数:外国人客)	0	4	0	15	4	29	2	5	0	0	0	12	71	64.0%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-----
寮・保養所	67,780	56,386	80,129	70,747	80,299	63,231	73,428	116,367	66,803	74,443	82,652	71,005	903,270	91.1%
宿泊客計	327,164	310,952	413,319	357,676	395,146	331,430	372,700	546,291	371,123	408,688	435,562	376,002	4,646,053	102.7%
(内数:外国人客)	7,403	7,983	11,620	17,905	10,989	9,487	11,815	10,787	10,380	12,685	11,490	10,018	132,562	105.8%
(内数:修学旅行者)	426	218	41	1,098	6,107	6,219	1,598	1,203	4,230	11,301	7,937	2,272	42,650	116.6%
日 帰 客	1,139,471	969,348	1,804,665	1,271,250	1,838,869	1,327,551	777,367	1,270,975	742,879	1,368,506	1,962,748	916,318	15,389,947	101.8%
観光客総数	1,466,635	1,280,300	2,217,984	1,628,926	2,234,015	1,658,981	1,150,067	1,817,266	1,114,002	1,777,194	2,398,310	1,292,320	20,036,000	102.0%

過去10年間の観光客の推移

(1) 宿泊客数			平成12年	4,690,748
年	宿泊客数(人)	対前年比	対H12年比	対前年増減比(人)
13	4,742,826	101.1%	101.1%	52,078
14	4,688,781	98.9%	100.0%	△ 54,045
15	4,624,226	98.6%	98.6%	△ 64,555
16	4,633,120	100.2%	98.8%	8,894
17	4,300,738	92.8%	91.7%	△ 332,382
18	4,618,012	107.4%	98.4%	317,274
19	4,722,093	102.3%	100.7%	104,081
20	4,727,069	100.1%	100.8%	4,976
21	4,525,157	95.7%	96.5%	△ 201,912
22	4,646,053	102.7%	99.0%	120,896

(2) 日帰客数			平成12年	14,349,252
年	日帰客数(人)	対前年比	対H12年比	対前年増減比(人)
13	14,662,174	102.2%	102.2%	312,922
14	14,582,219	99.5%	101.6%	△ 79,955
15	14,703,774	100.8%	102.5%	121,555
16	14,423,880	98.1%	100.5%	△ 279,894
17	14,604,262	101.3%	101.8%	180,382
18	14,631,988	100.2%	102.0%	27,726
19	15,539,907	106.2%	108.3%	907,919
20	15,949,931	102.6%	111.2%	410,024
21	15,123,843	94.8%	105.4%	△ 826,088
22	15,389,947	101.8%	107.3%	266,104

(3) 観光客総数			平成12年	19,040,000
年	観光客総数(人)	対前年比	対H12年比	対前年増減比(人)
13	19,405,000	101.9%	101.9%	365,000
14	19,271,000	99.3%	101.2%	△ 134,000
15	19,328,000	100.3%	101.5%	57,000
16	19,057,000	98.6%	100.1%	△ 271,000
17	18,905,000	99.2%	99.3%	△ 152,000
18	19,250,000	101.8%	101.1%	345,000
19	20,262,000	105.3%	106.4%	1,012,000
20	20,677,000	102.0%	108.6%	415,000
21	19,649,000	95.0%	103.2%	△ 1,028,000
22	20,036,000	102.0%	105.2%	387,000